



中央公民館

- ・放課後の読書クラブ (小手鞠 るい)
- ・三流シエフ (三國 清三)
- ・月の立つ林で (青山 美智子)
- ・老害の人 (内館 牧子)
- ・脳の闇 (中野 信子)
- ・バカと無知 (橋 玲)
- ・橋下徹の研究 (百田 尚樹)
- ・最後のひと (松井 久子)
- ・60 歳からの「忘れる力」(鎌田 實)
- ・霸王の轍 (相場 英雄)
- ・ラーメンカレー (滝口 悠生)
- ・猿の掃除屋 (風森 章羽)
- ・猫にならって (佐川 光晴)
- ・パレードのシステム (高山 羽根子)
- ・海は地下室に眠る (清水 裕貴)
- ・土竜 (もぐら) (高知 東生)
- ・浮遊 (遠野 遥)
- ・数学の女王 (伏尾 美紀)
- 児童書
- 「ウマと話すための7つのひみつ」
- 「神社のえほん」
- 「おばけのかわをむいたら」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・夜想交叉路 (青山 繁晴)
- ・諦念後―男の老後の大問題 (小田 嶋隆)
- ・お墓、どうしてます? (北大路 公子)
- ・ぼくらは「きょうだい」で起業する (太田 信介)
- ・幸福論 (B・ラッセル)
- ・いつまでもハツラツ脳の人 (和田 秀雄)
- ・木挽町のあだ討ち (永井 紗耶子)
- ・名探偵のままで (小西 マサテル)
- ・いい匂いのする方へ (曾我部 恵一)
- 児童書
- 「すぎすぎる47 都道府県」
- 「ちいさなちいさなヤクのガーター」

白崎会館

- ・風の値段 (堂場 瞬一)
- ・どすこい (森 睦 ことみち)
- ・祝祭のハングマン (中山 七里)
- ・女二人のニューギニア (有吉 佐和子)
- ・この世の喜びよ (井戸川 射子)
- ・荒地の家族 (佐藤 厚志)
- ・地図と拳 (小川 哲)
- ・しろがねの葉 (千早 茜)
- ・よき時を思う (宮本 輝)
- 児童書
- 「ぞつさんのおふる」
- 「ちいかわ 3 ～ 5 巻」
- 「暗殺教室 6 ～ 15 巻」
- 「ナマケモノヨガ」

由良町公民館だより  
2023 春号  
令和 5 年 4 月 1 日



- ・中央公民館 (日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- ・衣奈会館 (日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- ・白崎会館 (日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)

大阪・関西万博について

1970年に大阪府吹田市の千里丘陵で開催された日本万国博覧会(大阪万博)。この大阪万博が日本で初めての万国博覧会となり、その後、沖縄国際海洋博覧会(沖縄海洋博)・国際科学技術博覧会(つくば万博)・国際花と緑の博覧会(花博)・2005年日本国際博覧会(愛・地球博)の万博が開催されました。

これらの万博の中で、ご年配の方々には、「大阪万博」の印象が強く残っているのではないのでしょうか。

「大阪万博」は、「人類の進歩と調和」がテーマで、1970年3月15日～9月13日までの半年間の開催で、この間6,400万人を超える入場者があり、参加国は77か国を数え、また、多くの国内企業もパビリオンを建設し、様々なものが出展されました。

その中では、アメリカ館が最も人気があり、屋根は布製でできたテントを縫い合せたような楕円形のもので、屋根全体を空気の圧力によって浮き上がらせており、それまでの建物の概念を打ち破る斬新な設計でした。展示の目玉は、「アポロ計画」という宇宙開発で、アポロ宇宙船の乗組員が人類で初めて月面に着陸した時に持ち帰った「月の石」でした。これらを見るために2時間位の待ち時間は通常で、一日の大半をパビリオンへ入場するための待ち時間に要したように記憶しています。

次いで「ソ連館」や「日本館」も人気がありました。会場のパビリオン内には、テレビ電話やロボットなど、マンガや空想の世界のようなものが数多く展示されていました。また、モノレールや動く歩道などにも驚いたものです。

当時、地下鉄御堂筋線の終点には千里中央駅が建てられ、この駅に降りると、岡本太郎氏がデザインされた個性的な「太陽の塔」が正面で出迎えてくれたことを53年後の今も心に残っています。

さて、2年後の2025年4月13日～10月13日まで、大阪市の夢洲(ゆめしま)で開催される大阪・関西万博。「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマで、「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」がサブテーマとなっています。コロナ感染症やロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、昨今の世相を反映している「いのち」がテーマとなっており、このことが、万博本来の目的である平和の象徴、世界各国の人たちの交流の場、また、地球規模の様々な課題に取り組むために世界各地から英知が集まる「未来社会の実験場」となるように期待しているところです。



【報告】 由良町中央公民館

＊ヴィーガン料理教室

1月27日(金)と2月10日(金)の2回にわたり、ヴィーガン料理教室を開催しました。

講師は松葉裕加先生で、5名の方が参加され、カレーライス・スムージー・カルボナーラ・シフォンケーキ等を作りました。手際よく和気あいあいとした雰囲気の中楽しく調理され、出来上がった料理も美味しかったと大変好評でした。



＊サイエンス&マジックショー



2月5日(日)由良町中央公民館において、サイエンス&マジックショーを開催しました。会場に来ていた子どもたちも参加し、科学の不思議を体感しました。キビートさんの種あかしで会場は大歓声！  
コロナ禍により、4年ぶりの開催ではありましたが、多くの方にご来館いただき、ありがとうございました。

【短歌】

それぞれの歌読み終へて暮れの夜を心ぬくとし寝につかむとす  
今日もまた小さき鳥の訪れて何故かガラスに体当たりする  
安曇野の美術館にてはらからとほっこりゆっくり一日を過ごす  
この年も少々ながら串柿を作りて令和五年を迎ふる  
手ぎはよく作業なしゆく息子らに託ししみわが老思ふ  
イカ釣りのエンジン故障するも名人は月光頼りに無事帰り来ぬ  
冬寒の椿のごとし赤い陽にパワーをもらふ八十路のわれは  
不器用に剪定バサミを使ひつつ小三の子は茄子をゲットす  
帰省せし子らはそれぞれ戻りて暫くコロナ禍の今心配たへず

二本松 せつ子  
大西 克恵  
坂田 ひろ美  
中家 かよ子  
濱田 順子  
寺井 由美  
塩路 弘子  
山下 清美  
白樫 美智子



【俳句】

男一人手先おぼろや針仕事 伊藤 秀一 春昼の蠅が日射して貌洗ふ 田淵 佳根  
 ひとり居の豆撒きもせず鍵もせず 上本 郁子 悴みて縫ひ針使ふ妻の留守 広瀬 峰雄  
 春隣持たす袱紗の濃むらさき 片山 綾子 春しぐれ聖徒となりぬクヌンセン 藤田 薫  
 春立つ日母となる日を数へけり 小谷 かおり 引き潮に舟動き出す春夕焼 山下 治子  
 暮盤眺む一步も引かず懐手 小山 ひとみ 移りゆく季節の合図若布干し 吉村 美恵子  
 節分の闇ころがして鬼来る 坂田 妹子 若布干す陽の神風の神降り来 北岡 ゆみ  
 春立てり母のかたみの針箱に 高橋 義巳  
 木から木へ移る囀り墓地明るし 竹中 桃代



【4月～6月の行事予定】

【由良町中央公民館】

＊山野草展示会  
4月22日(土)  
4月23日(日)

＊由良町文化協会

ゴールデンウィーク展  
4月29日(土)から  
5月7日(日)まで

令和5年度も引き続き

書道教室・太極拳教室を開催します

＊書道教室  
毎月第2日曜日、午後1時～午後3時  
(自由な時間に参加してください)

＊太極拳教室  
毎月第2・第4金曜日  
午前10時～11時30分

どちらの教室とも18歳以上、由良町在住の方を対象です。

どうぞお気軽にご参加ください。

なお、詳しいことは由良町中央公民館にお問い合わせください。

